

月刊 ゆがの通信

2019年5月号

発行：ゆがの薬局

脳はストレスから健忘症・不眠症へ 「心脾顆粒」でスッキリ改善！

物忘れの原因はストレス

五月と言えば進学や就職など新しい生活が始まってから一か月が過ぎ、そろそろ生活にも慣れてくる頃ですが、環境の変化が精神的ストレスとなりやすい季節でもあります。頭がぼーっとする、うっかりミスをする、物忘れをする、眠れないなどの症状はありませんか？ これらの症状は健忘症が引き起こす状態で、精神的ストレスがその原因となっています。また、脳の使い過ぎや考えすぎも原因の一つとなります。ここでいう健忘症とは物忘れど忘れるのことを言います。



不眠も不安も「心脾顆粒」で

漢方では、「心(しん)」「脾(ひ)」が弱ってくると健忘症が起こるとしています。「心」は知覚や記憶、思考などの精神活動を司り、五臓六腑の調和を保つ働きをしています。また血の循環も担当しています。「脾」は

胃腸の働きを司り、胃腸の働きを高めて血液を生成し運行させています。ストレスや脳の疲れによって「心」や「脾」に負担がかかると、胃腸が弱まります。すると食欲がなくなり気血などのエネルギーが不足し、「心」が全身に巡らせている血が不足して脳まで血が回らないので健忘が起きますのです。

「心」が弱ると血液循環が悪くなり、脳の働きが低下すると健忘症になりやすいとお話してきましたが、さらに過度のストレスや疲労が蓄積してくると、不安や不眠、どうきなどの症状に発展してしまふケースがあります。休息と栄養をきちんと取り、ストレスを発散することが健忘症の根本的な対策ですが、そこで「心脾顆粒(しんぴかりゅう)」の服用がおすすめです。「心脾顆粒」には十種類の生薬が配合されており、胃腸の働きを元気にして血を生成・循環させ、精神・意識・思考を安定させる働きに優れた処方になっています。

「瘀血」には「冠元顆粒」をプラス

また、血液循環の悪化は頭だけでなく身体にも影響し、肩こりや背中の痛みなども発症することがあります。これは漢方という「瘀血(おけつ)」という状態をいい、血液がよごんで流れ

が悪く滞りがちな状態を指します。「瘀血」の状態は冷えやのほせ、こり、痛みの元となるだけでなく、高血圧、貧血、脳血管障害、虚血性心疾患など原因にもなるので注意が必要です。

ここに不安を持ったまま眠れない状態が続くと「瘀血」の改善は難しくなるので、「心脾顆粒」で血液量を増やしながら、血液循環を高める効果の強い「冠元顆粒(かんげんかりゅう)」をプラスしてやると早期の改善が見込めます。

さあ、脳の疲れを和らげ、精神を安定させ、健忘・不眠・不安を解決しましょう。

イスクラ産業株式会社

「心脾顆粒」(第2類医薬品)

・六十包入り(一か月分)

九、〇〇〇円+税



(C)イスクラ産業株式会社

「心脾顆粒」についてのご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円(税込)

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>